

## 情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	中学校 2年
領域	道徳
指導項目	B-(9) 相互理解, 寛容

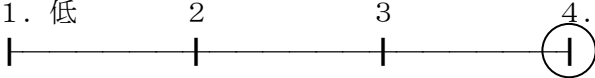
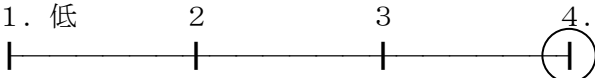
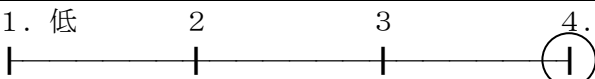
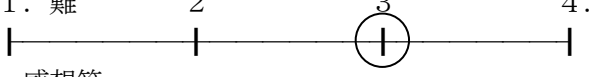
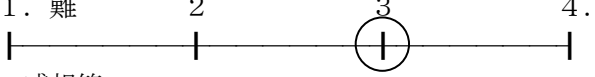
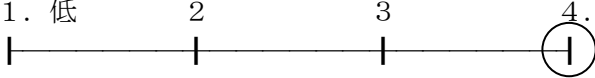
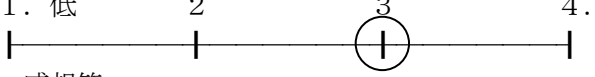
情報モラル指導モデルカリキュラム ( <a href="http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html">http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html</a> )			
指導分野	公共的なネットワーク社会の構築		
コード	i4-1	指導事項	ネットワークの公共性を意識して行動する。

授業前の生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンやSNSを利用する生徒が増え、友人間のコミュニケーションの方法が多様化している。しかし、その利便性に目が行きがちで、コミュニケーションの難しさには気付いていない様子である。</li> </ul>
生徒の心理的成長過程に応じた指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の時期は自我の発達が進み、自主的・自律的に行動しようとする姿が見られるようになる。同時に、客観的に自分を見ることができるようになる時期でもあり、他人との関わり方の難しさを感じ始める生徒がいる。</li> <li>コミュニケーションの難しさを題材にした資料を用いながら、グループでの話し合いを取り入れた学習をすることで、生徒にとって共感しやすい授業を展開する。</li> </ul>
期待される生徒の変容 (実践のねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット上のコミュニケーションについて、自分の生活を見直し、適切に扱おうとする。</li> <li>インターネット上のコミュニケーションに関するトラブルを未然に防ぐため、情報社会におけるよりよいコミュニケーションの在り方について考えることができる。</li> </ul>
生徒の変容を促すための授業の工夫 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルに関わる題材を扱いながら、多様なものの見方や考え方を受け入れ、相手の考えや立場を尊重しようとする道徳的心情を育む。</li> <li>登場人物の心情を追いつつ、言動を見直し、改善点について考える活動を取り入れることで、実践につなげる。</li> </ul>
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉の向こうに」 私たちの道徳 (文部科学省)</li> </ul>

## 事後アンケート（自由記述）

- ・インターネット上でも、人の気持ちや顔を思い浮かべて冷静にコミュニケーションをすることが大切だと思いました。
- ・自分の発言がどんな影響を与えるのかを考えて発言するようにしたいです。
- ・インターネット上にコメントを書き込むときは、冷静によく考えてから、書き込むことが大切だと思いました。
- ・インターネット上でコミュニケーションをするときは、自分が相手側だったらと考えて発言しようと思いました。
- ・相手が嫌なことを書いてきても、言葉を選んで相手が傷つかない言い回しでやめてもらえるようにして、自分は相手が傷つくようなことを絶対に言わないようにしようと思います。
- ・自分が伝えたいと思っていることが、そのまま伝わるとは限らないから、分かりやすく、丁寧な言葉遣いでコミュニケーションをすることが大切だと思いました。
- ・自分が楽しむために使うものだから、人を嫌な気持ちにさせたり、怒らせたりしないように気を付けて書き込むようにしようと思いました。
- ・インターネット上に言葉を投稿する場合、投稿を見た人が嫌な思いをしないか、不快な思いをしないか、自分が見る立場だったらどのように思うか考えてから書こうと思います。
- ・批判コメントなどを見ても、あまり感情的にならないことが大切だと思いました。
- ・インターネットでは、言葉の本当の意味や相手の気持ちが汲み取れないことがあるので、全てには反応しない。インターネットには、よい点もたくさんあると思うので、上手に付き合っていくことが大切だと思います。
- ・私がこんなことを言ったら相手が傷つくだろうなどと、考えて言うことが大切だと思いました。また、感情にまかせて言葉を発しないことも大切だと思います。
- ・インターネット上では、ここで話してもよい内容か、この言葉を見て誰かが傷つかないかと、口で話すときのように丁寧に言葉を選ぶようにします。
- ・書き込むことは簡単だが、消すことは簡単ではないので、言葉をよく考えて書き込むようにしたいと思います。

# 評価

生徒について	生徒の 興味・関心の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・インターネット上のコミュニケーションについて扱っている資料で、実感の湧きやすい内容であり、興味・関心は高かった。
	生徒の理解度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・インターネット上の言葉のやりとりにも、言葉の受け手となる人がいることを理解しやすい場面構成になっており、生徒の理解度は高かった。
	生徒の 変容の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・インターネット上でも、相手の気持ちを考えてコミュニケーションすることの大切さについてまとめている生徒が多かった。
授業について	事前準備の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 ・本実践ではワークシートなどを使用したが、中心資料がしっかりしているので、授業者の裁量で準備は簡素化できると思われる。
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 ・情報モラルに焦点を絞った道徳資料なので、道徳の授業として一般的な展開をすることができれば、十分な効果が期待できると思われる。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・多様なものの見方や考え方を受け入れ、相手の考えや立場を尊重する心をもととする道徳的心情を育みつつ、情報社会におけるよいコミュニケーションの在り方について考えさせることができた。
	指導方法の 効果の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・本実践では具体的な改善行動を考える活動を行ったが、登場人物の心情の変化について深く追求する活動に価値があると感じた。
<実践の感想及び反省点等> ・資料の内容が、生徒の経験と重なる部分もあり、理解が得られやすかった。 ・道徳的心情を育み、情報モラルに関する判断力を付けさせることができた。 ・生徒がインターネット上のコミュニケーションに関わるトラブルを経験する前に指導しておきたい内容であるため、早い時期に実施するとよいと感じた。		

## 実践例

配当時間	学習のすすめ方	指導のポイント
導入 8分	<p>1 「私のあこがれている（目標としている）人」を一口意見カードに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">一口意見カード</p> <p style="text-align: center;">記入者氏名（ ）</p> <p style="text-align: center;">『私のあこがれている（目標としている）人』</p> </div> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>インターネット上でのコミュニケーションについて考えましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一口意見カードの内容を教師が発表し、資料への方向付けを図る。</li> <li>・自分のあこがれている人を否定する発言を耳にしたらどう思うかを問いかけて、教材への関心を高める。</li> </ul>
展開 32分	<p>3 資料の範読を聞く。</p> <p>4 登場人物の気持ちの変化について、話し合う。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="font-size: small;">遠慮「言葉の向こうに」ワークシート</p> <p style="font-size: x-small;">話し合い①</p> <p style="font-size: x-small;">話し合い②</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>反論する言葉をエスカレートさせていった加奈子さんは、どんな思いで言葉を書き込んでいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな選手を批判されて悔しい。</li> <li>・私がA選手をかばわないといけない。</li> <li>・他の人にも、A選手のよさを理解してほしい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>加奈子さんは、画面から目を離して椅子の背にもたれながら、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪口を言う人をひどいと思っていた自分も、同じことをしていた。</li> <li>・無意識のうちに、誰かを傷つけていたかもしれない。</li> <li>・文字のやりとりをするうちに、相手のことを考えられなくなってしまった。</li> </ul> </div> <p>5 登場人物の行動について、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>このような事態を招かないためには、加奈子さんは、どの場面で、どうするとよかったですでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えに合わないサイトは見なければよい。</li> <li>・批判コメントを見つけたときに、相手にしないようにする。</li> <li>・他人のコメントに反論するとき、言葉選びに気を付けて、冷静に対処すればよかった。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は、加奈子の気持ちの変化に注目して、話し合いを進めることを説明する。</li> <li>・各発問において、グループの考えをワークシートにまとめた上で、学級全体で意見交換をさせる。</li> <li>・登場人物の心情を考えることで、初めはA選手をかばうつもりが、気持ちが高ぶって、言葉をエスカレートさせてしまったことに気付かせる。</li> <li>・これまでの経緯を振り返りながら、目に見えない相手に対して、配慮が欠けていたことを反省する登場人物の心情を想起させる。</li> <li>・多様な考えを出すことを目標にして考えさせる。</li> <li>・学級全体の話し合いでは、各グループの意見を比較し、整理しながら意図的指名をする。</li> </ul>

ま と め	10 分	6  自分の生活を振り返り、自己を見つめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>元の座席配置に戻して、道徳振り返りカードを配付する。</li> </ul>												
		インターネット上でのコミュニケーションをする上で、大切だと思うことについて書きましょう。													
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>2年(2)学期 道徳振り返りカード</b></p> <p style="text-align: center;">( )組( )番 名前( )</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">学習日</th> <th style="width: 15%;">タイトル</th> <th style="width: 35%;">自分の考えを話せた</th> <th style="width: 40%;">授業での積極性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">11月13日 火曜日</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">言葉の向き方に</td> <td style="text-align: center;">(A)・(B)・(C)・(D)</td> <td style="text-align: center;">(A)・(B)・(C)・(D)</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p style="font-size: small;">＜振り返り＞振り返りや感想を書きましょう。</p> <p>ネットでは言葉の本当の意味や相手の気持ちからないの。全てに反対したりしない。ネットには良い点もたくさんあると思うので上手に付き合っていくことが大切だと思う。</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div>	学習日	タイトル	自分の考えを話せた	授業での積極性	11月13日 火曜日	言葉の向き方に	(A)・(B)・(C)・(D)	(A)・(B)・(C)・(D)	<p style="font-size: small;">＜振り返り＞振り返りや感想を書きましょう。</p> <p>ネットでは言葉の本当の意味や相手の気持ちからないの。全てに反対したりしない。ネットには良い点もたくさんあると思うので上手に付き合っていくことが大切だと思う。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の生徒に、さまざまな情報手段が個人や社会に影響を及ぼすことを十分に理解し、正しい判断ができるように心がけてほしいことを伝える。</li> </ul>
学習日	タイトル	自分の考えを話せた	授業での積極性												
11月13日 火曜日	言葉の向き方に	(A)・(B)・(C)・(D)	(A)・(B)・(C)・(D)												
<p style="font-size: small;">＜振り返り＞振り返りや感想を書きましょう。</p> <p>ネットでは言葉の本当の意味や相手の気持ちからないの。全てに反対したりしない。ネットには良い点もたくさんあると思うので上手に付き合っていくことが大切だと思う。</p>															
		7  教師の話を聞く。													

## 情報モラル教育を広げるための方策と課題

情報モラル教育を広げるための実践	人権週間と関連付けて実施することで、当該学年の意識の高まりを目指しつつ、全校への広がりを図った。また当該学年の他学級においても、授業実践者の時間割を調整し、同様の実践を行った。
情報モラル教育を広げるための課題	学校での取組が家庭や地域へ広がっていくように、学習内容が生徒の生活に還元されるような工夫が必要だと考える。また、どの教員でも取り組みやすい内容を検討し、学級担任による同様の実践が行えるとよい。